4-125-562-**03** (2)

Data Projector

VPL-MX20
VPL-MX25

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、ソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使用を中止する

すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたりキャビネットを破損したときは

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

高温

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

接触禁止

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

お客様へ

下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご相談ください。

付属の電源コードや接続ケーブルを使う

付属の電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

容量の低い電源延長コードを使用しない

容量の低い延長コードを使うとショートしたり、火災や感電の原因となったりすることがあります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

アースキャップは幼児の手の届かないところへ保管する

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

床置き以外の設置をしない

床置き以外の設置をすると火災や故障、事故の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。
- 壁や周辺の物から 30cm 以上離して設置・使用する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

レンズをのぞかない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

指定された部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、火災や感電および故障や事故の原因となります。ランプ、電池、フィルターは指定されたものを使用してください。

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する（VPL-MX25 のみ）

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

⚠注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えることがあります。

電源コード / 接続ケーブルに足をひっかけない

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置･取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

本機を運搬するときは落下に注意する

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。また、付属のキャリングケースをご使用いただく場合も落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、ケガの原因となります。

本機を立てて置かない

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

排気口周辺には触れない

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない

火災の原因となることがあります。

製品の上にものを載せない

製品の上にものを載せると、故障や事故の原因となります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

約 500 時間使用したら、必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

エアーフィルターを外したまま使用しない

内部にゴミがたまり、故障の原因となります。

運搬するときは USB 機器（USB メモリーなど）を外して移動する（VPL-MX25 のみ）

本機を運搬するときは必ず USB 機器（USB メモリーなど）を取り外して移動してください。取り付けたままで移動すると、USB 機器や本機に損害を与える原因となることがあります。

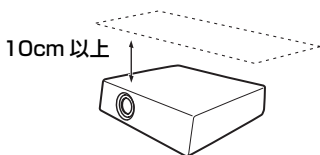
ガラス製レンズカバーが破損したときはすぐに修理を依頼する

万一ガラス製レンズカバーを破損させてしまうと、プロジェクター内部にガラス片が飛散する可能性があります。
修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

アジャスター調整時に指を挟まない

本機は、電源を入れると電動チルトアジャスターが自動的に伸張し、電源を切ると自動的に収納されます。電動チルトアジャスターの自動動作中はアジャスター付近に手や指などを近づけないでください。また、自動動作が終了した後、電動チルトアジャスターを調整する場合は、アジャスターに手などが触れないよう慎重に行ってください。電動チルトアジャスターに指を挟み、けがの原因になることがあります。

本体上部には 10cm 以上の空間をあけて設置する

本機は電動でチルトアジャスターが伸び、本体の高さが高くなります。本体上部に 10cm 以上の間隔をとって設置しないと、上部の壁、棚などの間に手を挟み、けがの原因となることがあります。

充分に冷えた状態でキャリングケースに収納する

本機の電源を切った直後にキャリングケースなどに本機を収納すると、熱がこもるためキャビネットの温度が上がる場合があります。充分に冷えた状態でキャリングケースに収納してください。
使用直後にキャリングケースに収納し、すぐに本機を取り出す時は排気口近くを掴まないようにご注意ください。やけどなどの原因となる場合があります。

本製品を使用中に他の機器の電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない（VPL-MX25 のみ）

ワイヤレス機能の使用を中止してください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない（VPL-MX25 のみ）

ワイヤレス機能の使用を中止してください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機のリモートコマンダーで使用可能な（コイン型）リチウム電池についての注意事項を記載しています。

⚠警告

- 乳幼児の手の届かないところに置く。
- 電池は充電しない。
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
- 電池の（＋）と（－）を正しく入れる。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- 電池に液もれや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 電池を保管する場合および破棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

⚠注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- 電池を水で濡らさない。
- ショートさせないように機器に取り付ける。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
  「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから1時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

ランプ収納部に金属類や燃えやすい異物を入れない

感電

ランプを取りはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

⚠注意 **下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。**

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**ソニーの相談窓口にランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

排気口をのぞかない

光が目に入り、悪影響を与えることがあります。
万一ランプが破裂した場合、ガラス片が飛散する可能性があり、けがの原因となることがあります。

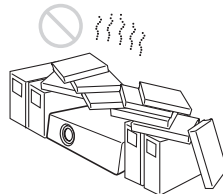
本機または使用済みランプを廃棄する場合

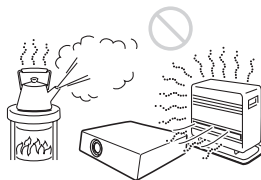
本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の**故障や破損の原因**となります。

風通しが悪い場所

- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。１分後にランプオフします。」という警告メッセージが表示され、１分後に自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から 30cm 以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所

温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。

ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所

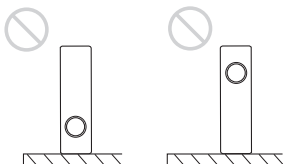
ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアーフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアーフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

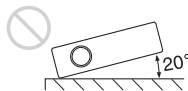
標高の高い場所で使用する場合

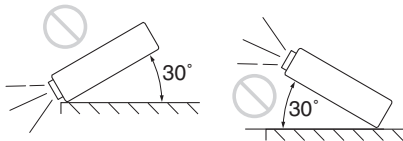
海抜 1500m 以上でのご使用に際しては、初期設定メニューの高地モードを「入」にしてください。そのままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用に適さない状態

次のような状態では使用しないでください。

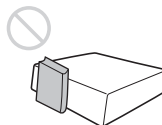
本機を立てて使用しない

プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾けない

プロジェクターを 20 度以上左右に傾けたり、床置き以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。
また、一定時間、設置角度が範囲外となった場合は警告メッセージが出る場合があります。

本機を前後に傾けない

プロジェクターを 30 度以上に前後に一定時間傾けると、設置角度が範囲外となり、警告メッセージが出る場合があります。

吸排気口を覆わない

吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置かない

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**
また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投射する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

プロジェクターの設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。
結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。
- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

強化処理を施したガラス製レンズについて

本機には強化処理を施したガラス製レンズカバーを使用しておりますが、取り扱いには充分にご注意ください。
万が一、破損させてしまうとガラスの小片が飛散する可能性がありますので、次のことをお守りください。
- 高い所から落とすなど強い衝撃を与えないでください。
- 鋭利なもので傷を付けないでください。傷が原因でガラスが割れることがあります。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

エアーフィルターのお手入れについて

- 必ず定期的にエアーフィルターのクリーニングをしてください。
- クリーニング方法については、“エアーフィルターをクリーニングする”をご参照ください。

レンズカバー面のお手入れについて

レンズカバーの表面は反射を抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。
- レンズカバーに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- レンズカバー表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはレンズ表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。
ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。
必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

お客様へ

各国 / 地域の声明文は、その国 / 地域で販売された機器に適用されます。

VPL-MX25 のみ

本機器には技術基準適合証明を受けた特定無線設備が組み込まれています。

日本国内で無線 LAN を使用する場合の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）して下さい。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときには、付属の取扱説明書に記載のソニーの相談窓口にお問い合わせ下さい。

2.4DS4/OF4

この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2412 から 2462 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

5GHz 帯の無線 LAN を使用する場合の注意

5GHz 帯の無線 LAN は、電波法の規制により、屋外および日本国外では使用できません。

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING
THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

Notice for customers

The statements for each country/area are only applicable to equipment sold in that country/area.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.
DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SVT, three **18 AWG wires**
Length	Minimum 1.5 m (4 ft. 11 in.), Less than 2.0 m (6 ft. 7 in.)
Rating	Minimum **7 A, 125 V**

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both.
To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

IMPORTANT

The nameplate is located on the bottom.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

For the customers in the U.S.A

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
-Reorient or relocate the receiving antenna.
-Increase the separation between the equipment and receiver.
-Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
-Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

If you have any questions about this product, you may call;

Sony Customer Information Service Center 1-800-222-7669 or http://www.sony.com/

Declaration of Conformity

Trade Name: SONY
Model: VPL-MX20
VPL-MX25
Responsible party:
Sony Electronics Inc.
Address: 16530 Via Esprillo, San Diego, CA 92127U.S.A.
Telephone Number:
858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japan.
The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

For the State of California, USA only

Perchlorate Material - special handling may apply, See
www.dtsc. ca.gov/hazardouswaste/perchlorate
Perchlorate Material: Lithium battery contains perchlorate.

Disposal of the used lamp

For the customers in the USA
Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

For safety

Be sure to attach the air filter to the unit.

For the customers in Taiwan only

廢電池請回收

CAUTION

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced.
Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer.
When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

GB

For VPL-MX25 only

For the customers in the U.S. A. and Canada

This device complies with Part 15 of FCC Rules and RSS-Gen of IC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.

This equipment complies with FCC/IC radiation exposure limits set forth for uncontrolled equipment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines in Supplement C to OET65 and RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment should be installed and operated with at least 20cm and more between the radiator and person's body (excluding extremities: hands, wrists, feet and ankles).

For the customers in the U.S.A.

In according with 47 CFR Part15.407 (e) U-NII devices operating in 5.15-5.25GHz frequency bands are restricted to indoor operations only.
This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

For the customers in Europe

Notice for customers: the following information is only applicable to equipment sold in Countries applying EU directives.

This product is intended to be used in the following countries:

AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	PT	RO
SK	SI	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH		

Bulgarian	С настоящето Сони Корпорация декларира, че този VPL-MX25/Data Projector отговаря на основните изисквания и другите съответстващи клаузи на Директива 1999/5/ЕС. Подробности може да намерите на Интернет страницата : http://www.compliance.sony.de/.
Czech	Sony Corporation tímto prohlašuje, že tento VPL-MX25/Data Projector je ve shodě se základními požadavky a dalšími příslušnými ustanoveními směrnice 1999/5/ES. Podrobnosti lze získat na následující URL: http://www.compliance.sony.de/
Danish	Undertegnede Sony Corporation erklærer herved, at følgende udstyr VPL-MX25/Data Projector overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF. For yderligere information gå ind på følgende hjemmeside: http://www.compliance.sony.de/
Dutch	Hierbij verklaart Sony Corporation dat het toestel VPL-MX25/Data Projector in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG. Nadere informatie kunt u vinden op: http://www.compliance.sony.de/
English	Hereby, Sony Corporation, declares that this VPL-MX25/Data Projector is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. For details, please access the following URL: http://www.compliance.sony.de/

Estonian	Sony Corporation kinnitab käesolevaga seadme VPL-MX25/Data Projector vastavust 1999/5/EÜ direktiivi põhinõuetele ja nimetatud direktiivist tulenevatele teistele asjakohastele sätetele. Üksikasjalikum info: http://www.compliance.sony.de/.
Finnish	Sony Corporation vakuuttaa täten että VPL-MX25/Data Projector tyyppinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen. Halutessasi lisätietoja, käy osoitteessa: http://www.compliance.sony.de/
French	Par la présente Sony Corporation déclare que l'appareil VPL-MX25/Data Projector est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE. Pour toute information complémentaire, veuillez consulter l'URL suivante: http://www.compliance.sony.de/
German	Hiermit erklärt Sony Corporation, dass sich das Gerät VPL-MX25/Data Projector in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet. Weitere Informationen erhältlich unter: http://www.compliance.sony.de/
Greek	Με την παρούσα η Sony Corporation δηλώνει ότι VPL-MX25/Data Projector συμμο ρφώνεται προς της ουσιώδεις απαιτήσεις και τις λοιπές σχετικές διατάξεις της οδηγίας 1999/5/ΕΚ. Για λεπτομέρειες παρακαλούμε όπως ελένξετε την ακόλουθη σελίδα του διαδ ικτύου: http://www.compliance.sony.de/
Hungarian	Alulírott, Sony Corporation nyilatkozom, hogy a(z) VPL-MX25/Data Projector megfelel a vonatkozó alapvető követelményeknek és az 1999/5/EC irányelv egyéb előírásainak. További információkat a következő weboldalon találhat: http://www.compliance.sony.de/
Italian	Con la presente Sony Corporation dichiara che questo VPL-MX25/Data Projector è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE. Per ulteriori dettagli, si prega di consultare il seguente URL: http://www.compliance.sony.de/
Latvian	Ar šo Sony Corporation deklarē, ka VPL-MX25/Data Projector atbilst Direktīvas 1999/5/EK būtiskajām prasībām un citiem ar to saistītajiem noteikumiem. Plašāka inform ācija ir pieejama: http://www.compliance.sony.de/
Lithuanian	Šiuo Sony Corporation deklaruoja, kad šis VPL-MX25/Data Projector atitinka esminius reikalavimus ir kitas 1999/5/EB Direktyvos nuostatas. Susipažinti su visu atitikties deklaracijos turiniu Jūs galite interneto tinklalapyje: http://www.compliance.sony.de/
Norwegian	Sony Corporation erklærer herved at utstyret VPL-MX25/Data Projector er i samsvar med de grunnleggende krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF. For flere detaljer, vennligst se: http://www.compliance.sony.de/
Polish	Niniejszym Sony Corporation oświadcza, że VPL-MX25/Data Projector jest zgodne z zasadniczymi wymaganiami oraz innymi stosownymi postanowieniami Dyrektywy 1999/5/WE. Szczególowe informacje znaleźć mozna pod następującym adresem URL: http:// www.compliance.sony.de/
Portuguese	Sony Corporation declara que este VPL-MX25/Data Projector está conforme os requisitos essenciais e outras disposições da Directiva 1999/5/CE. Para mais informacoes, por favor consulte a seguinte URL: http://www.compliance.sony.de/

Romanian	Prin prezenta, Sony Corporation declară că acest VPL-MX25/Data Projector respectă cerințele esențiale şieste în conformitate cu prevederile Directivei 1999/5/EC. Pentru detalii, vă rugăm accesați următoarea adresă: http://www.compliance.sony.de/
Slovak	Sony Corporation týmto vyhlasuje, že VPL-MX25/Data Projector splňa základné požiadavky a všetky príslušné ustanovenia Smernice 1999/5/ES. Podrobnosti získate na nasledovnej webovej adrese: http://www.compliance.sony.de/
Slovenian	Sony Corporation izjavlja, da je ta VPL-MX25/Data Projector v skladu z bistvenimi zahtevami in ostalimi relevantnimi določili direktive 1999/5/ES. Za podrobnosti vas naprošamo, če pogledate na URL: http://www.compliance.sony.de/
Spanish	Por medio de la presente Sony Corporation declara que el VPL-MX25/Data Projector cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE. Para mayor información, por favor consulte el siguiente URL: http://www.compliance.sony.de/
Swedish	Härmed intygar Sony Corporation att denna VPL-MX25/Data Projector står I överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 1999/5/EG. För ytterligare information gå in på följande hemsida: http://www.compliance.sony.de/

For the customers in France

The WLAN feature of this Data Projector shall exclusively be used inside buildings.

For the customers in Italy

Use of the RLAN network is governed:

- with respect to private use, by the Legislative Decree of 1.8.2003, no. 259 (“Code of Electronic Communications”). In particular Article 104 indicates when the prior obtainment of a general authorization is required and Art. 105 indicates when free use is permitted;
- with respect to the supply to the public of the RLAN access to telecom networks and services, by the Ministerial Decree 28.5.2003, as amended, and Art. 25 (general authorization for electronic communications networks and services) of the Code of electronic communications
- with respect to private use, by the Ministerial Decree 12.07.2007

For the customers in Cyprus

The end user must register the RLAN devices in the Department of Electronic Communications (P.I. 6/2006 and P.I. 6A/ 2006).

P.I. 6/2006 is the Radiocommunications (Categories of Stations Subject to General Authorization and Registration) Order of 2006.
P.I. 6A/2006 is the General Authorization for the use of Radiofrequencies by Radio Local area Networks and by Wireless Access Systems, including Radio Local Area Networks (WAS/RLAN).

Για τους πελάτες στην Κύπρο

Ο τελικός χρήστης πρέπει να εγγράψει τις συσκευές RLAN στο Τμήμα Ηλεκτρονικών Επικοινωνιών (ΚΔΠ. 6/2006 και ΚΔΠ. 6Α/2006).

Το ΚΔΠ. 6/2006 είναι το Διάταγμα περί Ραδιοεπικοινωνιών του 2006 (Κατηγορίες Ραδιοσυχνοτήτων Υποκείμενες σε Γενική Εξουσιοδότηση και Εγγραφή).
Το ΚΔΠ. 6Α/2006 αποτελεί τη Γενική Εξουσιοδότηση για τη χρήση ραδιοσυχνοτήτων από τοπικά ασύρματα δίκτυα και ασύρματα συστήματα πρόσβασης, συμπεριλαμβανομένων των τοπικών δικτύων επικοινωνιών (WAS/RLAN).

For the customers in Norway

Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Ålesund, Svalbard.

For kunder i Norge

Det er ikke tillatt å bruke dette radioutstyret innen en radius på 20 km fra sentrum av Ny-Ålesund, Svalbard.

For the customers in Taiwan

注意

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。
低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Precautions

On safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified Sony personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes (exhaust) — the air coming out is hot.
- Be careful not to get your fingers caught in the adjuster. The powered tilt adjuster of this unit automatically extends when the power is turned on, and is retracted automatically when the power is turned off. Do not touch the unit while the adjuster is in operation. Adjust the powered tilt adjuster carefully after its automatic operation is completed.
- Do not use the product with the filter removed.
- Do not drop in at the exhaust outlet.

On illumination

- To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.
- Cover any windows that face the screen with opaque draperies.
- It is desirable to install the unit in a room where floor and walls are not of light-reflecting material. If the floor and walls are of reflecting material, it is recommended that the carpet and wall paper be changed to a dark color.

On preventing internal heat build-up

The unit is equipped with ventilation holes (intake) at the bottom and ventilation holes (exhaust) at the side. Do not block or place anything near these holes, or internal heat build-up may occur, causing picture degradation or damage to the unit.

On cleaning

Before cleaning

Be sure to disconnect the AC power cord from the AC outlet.

On cleaning the air filter

- Clean the air filter regularly.
- Refer to the “Cleaning the Air Filter” for the air filter cleaning.

On cleaning the lens cover

The lens cover surface is especially treated to reduce reflection of light.
As incorrect maintenance may impair the performance of the projector, take care with respect to the following:

- Avoid touching the lens cover. To remove dust on the lens, use a soft dry cloth. Do not use a damp cloth, detergent solution, or thinner.
- Wipe the lens cover gently with a soft cloth such as a cleaning cloth or glass cleaning cloth.
- Stubborn stains may be removed with a soft cloth such as a cleaning cloth or glass cleaning cloth lightly dampened with water.
- Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or chemical cleaning cloth, as they will damage the lens cover surface.

On cleaning the cabinet

- Clean the cabinet gently with a soft dry cloth. Stubborn stains may be removed with a cloth lightly dampened with mild detergent solution, followed by wiping with a soft dry cloth.
- Use of alcohol, benzene, thinner or insecticide may damage the finish of the

cabinet or remove the indications on the cabinet. Do not use these chemicals.
- If you rub on the cabinet with a stained cloth, the cabinet may be scratched.
- If the cabinet is in contact with a rubber or vinyl resin product for a long period of time, the finish of the cabinet may deteriorate or the coating may come off.

On LCD projector

The LCD projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that continuously appear on the LCD projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction.
Also, when you use multiple LCD projectors to project onto a screen, even if they are of the same model, the color reproduction among projectors may vary, since color balance may be set differently from one projector to the next.

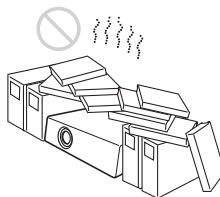
Lens cover with hardened glass

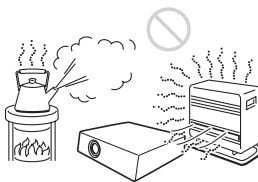
A lens cover with hardened glass is supplied; however, it is not unbreakable. If the glass is shattered, dangerous shards may be scattered. Take note of the followings:
- Do not impact strong shock to the cover by dropping it from a high location.
- Do not scratch it. A deep scratch can lead to breakage.

Notes on Installation and Usage

Unsuitable Installation

Do not install the unit in the following situations. **These installations may cause malfunction or damage** to the unit.

Poorly ventilated

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- When the internal heat builds up due to the block-up, the temperature sensor will function with the message “High temp.! Lamp off in 1 min.” The power will be turned off automatically after one minute.
- Leave space of more than 30 cm (11 $^{7}/_{8}$ inches) around the unit.
- Be careful that the ventilation holes may inhale tininess such as a piece of paper.

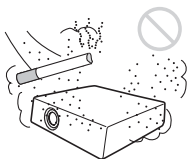
Highly heated and humid

- Avoid installing the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or temperature is very low.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.

Subject to direct cool or warm air from an air-conditioner

Installing in such a location may cause malfunction of the unit due to moisture condensation or rise in temperature.

Near a heat or smoke sensor

Malfunction of the sensor may be caused.

Very dusty, extremely smoky

Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it. Dust preventing the air passing through the filter may cause a rise in the internal temperature of the unit. Clean the air filter whenever you replace the lamp.

Usage in High Altitude

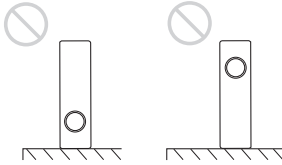
When using the unit at an altitude of 1,500 m or higher, set the “High Altitude Mode” to “On” in the Setup menu. Failing to set this mode when using the unit at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.

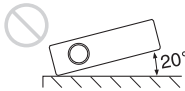
Note on the screen

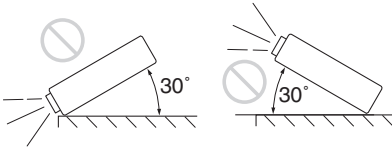
When using a screen with an uneven surface, stripes pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the unit or the zooming magnifications. This is not a malfunction of the unit.

Unsuitable Conditions

Do not use the unit under the following conditions.

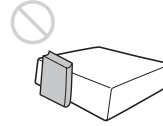
Do not topple the unit

Avoid using as the unit topples over on its side. It may cause malfunction.

Do not tilt right/left

Avoid using as the unit tilts right or left more than 20 degrees. Do not install the unit other than on the floor or ceiling. These installations may cause malfunction.

Do not tilt the unit backward or forward

If the unit is left tilted for a certain period of time, a warning message may appear to show that the installation angle is outside the proper range.

Do not block the ventilation holes

Avoid using something to cover over the ventilation holes (exhaust/intake); otherwise, the internal heat may build up.

Do not place a blocking object just in front of the lens

Do not place any object just in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object. Use the PIC MUTING key to cut off the picture.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT
CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

Notice pour les clients

Les énoncés relatifs à chaque pays/région ne sont applicables qu'aux équipements vendus dans le pays/la région concerné(e).

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe sous l'appareil.

AVERTISSEMENT

1 Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2 Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japon.
Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

Par mesure de sécurité

Vous devez fixer le filtre à air sur l'appareil.

ATTENTION

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie.
Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur.
Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.

Uniquement pour le VPL-MX25

Pour les clients au Canada

Cet appareil est conforme à l'article 15 des réglementations de la FCC et RSS-Gen des réglementations IC (Industrie Canada). Son opération est sujette aux deux conditions suivantes : (1) cet appareil ne peut pas causer des interférences nuisibles, et (2) cet appareil doit accepter toutes les interférences reçues, y compris celles qui peuvent causer un fonctionnement non désiré.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux radiations imposées pour tous les équipements non contrôlés, et est conforme aux directives sur les expositions aux fréquences radio (FR) du supplément C du DET65 et aux réglementations IC des expositions aux fréquences radio (FR) RSS-102. Cet équipement devrait être installé et utilisé avec une distance minimale de 20 cm entre le dispositif émettant des radiations et le corps de l'utilisateur (les extrémités ne sont pas incluses : mains, poignets, pieds et chevilles).

Pour les clients en Europe

Notice pour les clients : Les informations suivantes ne sont applicables qu'aux équipements vendus dans les pays appliquant les directives de l'union européenne.

Ce produit est conçu pour être utilisé dans les pays suivants :

AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	PT	RO
SK	SI	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH		

Par la présente Sony Corporation déclare que l'appareil VPL-MX25/Data Projector est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE. Pour toute information complémentaire, veuillez consulter l'URL suivante: http://www.compliance.sony.de/

Pour les clients en France

La fonction WLAN de cet appareil (Data Projector) doit exclusivement être utilisée à l'intérieur.

Pour les clients en Italie

L'utilisation des réseaux RLAN est régie :

- en ce qui concerne l'utilisation à des fins privées, par le Décret législatif du 1er août 2003, No. 259 (« Code des communications électroniques »). En particulier, l'Article 104 qui stipule quand l'obtention préalable d'une autorisation générale est requise, et l'Article 105 qui précise quand une utilisation libre est permise ;
- en ce qui concerne la fourniture au public d'un accès RLAN aux réseaux et services de télécommunications, par le Décret ministériel du 28 mai 2003, et de l'Article 25 (autorisation générale pour les réseaux et services de communications électroniques) du Code des communications électroniques ;
- en ce qui concerne l'utilisation à des fins privées, par le Décret ministériel du 12 juillet 2007.

FR

Pour les clients en Chypre

L'utilisateur final doit enregistrer les périphériques RLAN auprès du Département des communications électroniques (P.I. 6/2006 et P.I. 6A/2006).

P.I. 6/2006 représente l'Ordre des communications radio (Catégories des stations sujettes à une autorisation et un enregistrement généraux) de 2006.
P.I. 6A/2006 représente l'Autorisation générale pour l'utilisation des fréquences radio par les réseaux locaux radio (RLAN) et par les systèmes d'accès sans fil (WAS).

Pour les clients en Norvège

L'utilisation de cet équipement radio n'est pas permise dans la zone géographique située à l'intérieur d'un rayon de 20 km du centre de Ny-Ålesund, Svalbard.

Précautions

Sécurité

- Assurez-vous que la tension de service de votre projecteur est identique à la tension locale. Si un adaptateur de tension est nécessaire, informez-vous auprès d'un technicien Sony agréé.
- Si du liquide ou un objet solide pénètre dans le coffret, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un technicien Sony agréé avant de poursuivre l'utilisation.
- Débranchez le projecteur de la prise murale en cas de non-utilisation pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, le tirer par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité du projecteur et être facile d'accès.
- L'appareil demeure connecté à la source d'alimentation secteur tant qu'il est branché sur la prise murale, et ce même si l'appareil est éteint.
- Ne regardez pas dans l'objectif lorsque la lampe est allumée.
- Ne mettez pas la main et ne posez aucun objet près des orifices de ventilation (sortie dáir); l'air qui s'en échappe est très chaud.
- Veillez à ne pas vous coincer dans le dispositif de réglage. Le dispositif de réglage d'inclinaison motorisé de cet appareil se déploie automatiquement à la mise sous tension et se rétracte automatiquement à la mise hors tension. Ne touchez pas l'appareil pendant le fonctionnement du dispositif de réglage. Réglez soigneusement le dispositif de réglage d'inclinaison motorisé lorsque son fonctionnement automatique est terminé.
- N'utilisez pas l'appareil lorsque le filtre est retiré.
- Ne faites rien tomber dans l'orifice de sortie d'air.

Éclairage

- Pour une qualité d'image optimale, la face avant de l'écran ne doit pas être directement exposée à une source d'éclairage ou au rayonnement solaire.
- Occultez les fenêtres qui font face à l'écran au moyen de rideaux opaques.
- Il est préférable d'installer le projecteur dans une pièce où le sol et les murs ne sont pas revêtus d'un matériau réfléchissant la lumière. Si le sol et les murs réfléchissent la lumière, nous vous recommandons de remplacer le revêtement de sol et mural par un de couleur sombre.

Prévenir l'accumulation de chaleur interne

L'appareil est équipé d'orifices de ventilation sur sa face inférieure (entrée d'air) et sur le côté (sortie d'air). Évitez de bloquer ces orifices ou de placer quoi que ce soit à proximité, autrement la chaleur risque de s'accumuler à l'intérieur de l'appareil, causant une dégradation de l'image ou endommageant l'appareil.

Nettoyage

Avant le nettoyage

Veillez à débrancher le cordon d'alimentation de la prise de courant alternatif.

Nettoyage du filtre à air

- Nettoyez régulièrement le filtre à air
- Reportez-vous à « Nettoyage du filtre à air » pour le nettoyage du filtre à air.

Nettoyage de l'objectif

La surface de l'objectif a été soumise à un traitement spécial, destiné à réduire la réflexion de la lumière.
Un entretien incorrect peut réduire les performances du projecteur. Veillez à ce qui suit :

- Ne touchez pas l'objectif. Pour dépoussiérer l'objectif, employez un chiffon doux et sec. N'utilisez pas de chiffon humide, de solution détergente ni de diluant.
- Passez un chiffon doux (chiffon de nettoyage ou pour vitres) sur l'objectif, sans frotter.
- Éliminez les taches tenaces avec un chiffon doux (chiffon de nettoyage ou pour vitres) légèrement imprégné d'eau.
- N'utilisez jamais de solvants tels que l'alcool, le benzène, les diluants ou les

détergents acides, alcalins ou abrasifs, ni un chiffon de nettoyage chimique, car ils risqueraient d'endommager la surface de l'objectif.

Nettoyage du boîtier

- Nettoyez le boîtier avec un chiffon doux et sec sans frotter. Éliminez les taches tenaces avec un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre, puis essuyez avec un chiffon doux sec.
- L'utilisation d'alcool, de benzène, de diluants ou d'insecticide risque d'endommager la finition du boîtier ou d'effacer les instructions indiquées sur ce dernier. N'utilisez pas ce type de produits chimiques.
- Si vous frottez le boîtier avec un chiffon sale, vous risquez de le griffer.
- En cas de contact prolongé du boîtier avec du caoutchouc ou de la résine vinylique, la finition risque de se détériorer ou le revêtement de se décoller.

Projecteur LCD

Le projecteur LCD est fabriqué au moyen d'une technologie de haute précision. Il se peut toutefois que vous constatiez que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) apparaissent continuellement sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement.
Si vous utilisez plusieurs projecteurs LCD pour projeter sur un écran, la reproduction des couleurs peut varier selon les projecteurs, même s'ils sont du même modèle. Ceci est dû au fait que l'équilibre des couleurs peut être réglé différemment sur les projecteurs.

Objectif en verre renforcé

Le projecteur est livré avec un objectif en verre renforcé ; celui-ci n'est cependant pas incassable. Si le verre est brisé, des éclats dangereux peuvent se disperser. Veuillez noter les points suivants :

- Ne soumettez pas l'objectif à un choc d'impact important en le laissant tomber d'une grande hauteur.
- Ne le rayez pas. Une rayure profonde peut provoquer le bris du verre.

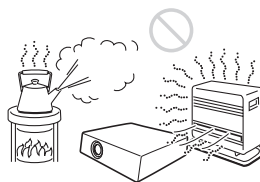
Remarques sur l'installation et l'utilisation

Installation inadéquate

N'installez pas l'appareil dans les conditions suivantes. **Ces installations peuvent causer un dysfonctionnement de l'appareil ou l'endommager**.

Mauvaise ventilation

- Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas le projecteur sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- Lorsque la chaleur s'accumule à l'intérieur de l'appareil en raison du blocage des orifices de ventilation, le capteur de température s'active et le message « Surchauffe! Lampe OFF 1 min. » s'affiche. L'appareil se mettra automatiquement hors tension au bout d'une minute.
- Laissez un dégagement de plus de 30 cm (11 $^{7}/_{8}$ pouces) autour de l'appareil.
- Prenez garde que des petits objets, tels que des bouts de papier, ne soient aspirés par les orifices de ventilation.

Très chaud et humide

- N'installez pas le projecteur dans un endroit très chaud, très humide ou très froid.
- Pour éviter la condensation d'humidité, n'installez pas le projecteur dans un endroit où la température est susceptible d'augmenter rapidement.

Exposé directement au flux d'air froid ou chaud d'un climatiseur

L'installation dans un tel emplacement peut causer un dysfonctionnement de l'appareil à cause de la condensation de l'humidité ou d'une hausse de température.

Proximité d'un capteur de chaleur ou de fumée

Cela peut causer un dysfonctionnement du capteur.

Très poussiéreux ou extrêmement enfumé

N'installez pas le projecteur dans un environnement très poussiéreux ou enfumé. Le filtre à air pourrait se colmater avec, pour résultat, un dysfonctionnement ou des dommages du projecteur. La poussière colmatée ferait obstacle au passage de l'air à travers le filtre et il en résulterait une surchauffe interne du projecteur. Nettoyez le filtre à air chaque fois que vous changez la lampe.

Utilisation à haute altitude

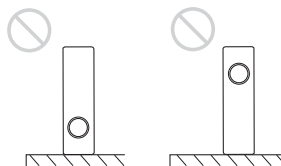
Si l'appareil est utilisé à une altitude de 1 500 m ou plus, réglez l'option « Mode haute altit. » sur « On » dans le menu Réglage. Si ce réglage du mode n'est pas effectué alors que l'on utilise l'appareil à haute altitude, des effets négatifs peuvent s'ensuivre, tels qu'une baisse de fiabilité de certains composants.

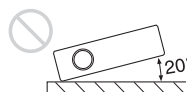
Remarque sur l'écran

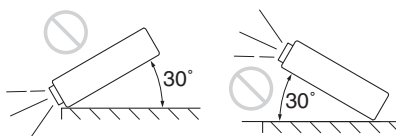
Si un écran à surface inégale est utilisé, il se peut, dans de rares cas, que des motifs de lignes apparaissent sur l'écran suivant la distance qui sépare l'écran de l'appareil ou suivant le taux de grossissement du zoom. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement de l'appareil.

Conditions déconseillées

N'utilisez pas l'appareil dans les conditions suivantes.

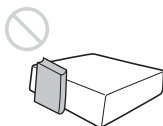
Ne basculez pas l'appareil

Évitez d'utiliser l'appareil en le faisant basculer sur le côté. Cela pourrait provoquer un dysfonctionnement.

N'inclinez pas vers la droite/gauche

Évitez d'utiliser l'appareil en l'inclinant sur la droite ou la gauche de plus de 20 degrés. N'installez pas l'appareil ailleurs que sur le plancher ou au plafond. Tout autre type d'installation peut causer un dysfonctionnement.

N'inclinez pas l'appareil vers l'arrière ou vers l'avant

Si l'appareil reste incliné pendant un certain temps, un message d'avertissement peut apparaître pour indiquer que l'angle d'installation est en dehors de la plage correcte.

Ne bloquez pas les orifices de ventilation

Évitez de recouvrir d'objets les orifices de ventilation (sortie/entrée), autrement la chaleur risque de s'accumuler à l'intérieur de l'appareil.

Ne placez aucun objet qui pouvait faire obstacle juste devant l'objectif

Ne placez aucun objet juste devant l'objectif qui pourrait bloquer la lumière durant la projection. La chaleur provenant de la lumière risque d'endommager l'objet. Utilisez la touche PIC MUTING pour couper l'image.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ADVERTENCIA
ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

ADVERTENCIA

Esta unidad no dispone de interruptor de alimentación.
Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el enchufe de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte el enchufe de alimentación.

Aviso para los clientes

La información para cada país/zona sólo se aplica a los equipos vendidos en el país/la zona.

IMPORTANTE

La placa de características está situada en la parte inferior.

ADVERTENCIA

1 Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2 Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

Para los clientes de Europa

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, 108-0075 Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Por razones de seguridad

No olvide sujetar el filtro de aire a la unidad.

PRECAUCIÓN

Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante.
Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.

Sólo para VPL-MX25

Para los clientes de México

Este equipo opera a titulo secundario, consecuentemente, debe aceptar interferencias perjudiciales incluyendo equipos de la misma clase y puede no causar interferencias a sistemas operando a titulo primario.

Para los clientes de Europa

Aviso para los clientes: la siguiente información sólo se aplica a los equipos vendidos en países sometidos a las directivas de la UE.

Este producto ha sido fabricado para utilizarse en los siguientes países:

AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	PT	RO
SK	SI	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH		

Por medio de la presente Sony Corporation declara que el VPL-MX25/Data Projector cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE. Para mayor información, por favor consulte el siguiente URL:
http://www.compliance.sony.de

Para los clientes de Francia

La función WLAN de este proyector se utilizará exclusivamente en el interior de edificios.

Para los clientes de Italia

El uso de la red RLAN se rige:

- con respecto al uso privado, por el Decreto legislativo de 1.8.2003, núm. 259 ("Código de comunicaciones electrónicas"). En concreto, el artículo 104 indica cuándo se requiere la obtención previa de una autorización general y el artículo 105 indica cuándo se permite el uso libre;
- con respecto al suministro al público del acceso RLAN a las redes y servicios de telecomunicaciones, por el Decreto ministerial de 28.5.2003, según fue enmendado, y el artículo 25 (autorización general para redes y servicios de comunicación electrónica) del Código de comunicaciones electrónicas
- con respecto al uso privado, por el Decreto ministerial de 12.07.2007

Para los clientes de Chipre

El usuario final debe registrar los dispositivos RLAN en el Departamento de comunicaciones electrónicas (P.I. 6/2006 y P.I. 6A/2006).

P.I. 6/2006 corresponde a la Orden de 2006 sobre radiocomunicaciones (categorías de emisoras sujetas a autorización general y registro).
P.I. 6A/2006 corresponde a la autorización general para el uso de radiofrecuencias por redes de área local de radio y por sistemas de acceso inalámbrico, incluidas las redes de área local de radio (WAS/RLAN).

Para los clientes de Noruega

No se permite el uso de este equipo de radio en la zona geográfica situada dentro de un radio inferior a 20 km desde el centro de Ny-Ålesund, Svalbard.

ES

Precauciones

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal especializado de Sony.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado de Sony antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No mire al objetivo mientras la lámpara esté encendida.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación (escape). El aire que sale está caliente.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el ajustador. El ajustador eléctrico de inclinación de esta unidad se extiende automáticamente cuando se enciende la alimentación y se repliega automáticamente cuando se apaga la alimentación. No toque la unidad mientras el ajustador esté funcionando. Cuando haya finalizado el funcionamiento automático del ajustador eléctrico de inclinación, ajústelo con cuidado.
- No utilice el producto sin el filtro.
- No deje que se caiga por la salida de escape.

Iluminación

- Con el fin de obtener imágenes con la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.
- Cubra con tela opaca las ventanas que estén orientadas hacia la pantalla.
- Es recomendable instalar la unidad en una sala cuyo suelo y paredes estén hechos con materiales que no reflejen la luz. Si el suelo y las paredes están hechos de dicho tipo de material, se recomienda cambiar el color de éstos por uno oscuro.

Prevención del calentamiento interno

La unidad está equipada con orificios de ventilación de admisión en la parte inferior y de escape a un lado. No bloquee dichos orificios ni coloque nada cerca de ellos, ya que si lo hace puede producirse un recalentamiento interno, causando el deterioro de la imagen o daños a la unidad.

Limpieza

Antes de la limpieza

Asegúrese de desenchufar el cable de alimentación de la toma de CA.

Limpieza del filtro de aire

- Limpie el filtro de aire de manera regular.
- Consulte “Limpieza del filtro de aire” para ver el procedimiento de limpieza del filtro de aire.

Limpieza de la cubierta del objetivo

La superficie de la cubierta del objetivo está tratada especialmente para reducir el reflejo de la luz.
Un mantenimiento incorrecto puede afectar al rendimiento del proyector, por lo que se debe tener en cuenta lo siguiente:

- Evite tocar la cubierta del objetivo. Utilice un paño seco y suave para eliminar el polvo del objetivo. No utilice un paño húmedo, soluciones detergentes ni diluyentes.
- Limpie suavemente la cubierta del objetivo con un paño suave (trapo o gamuza).
- Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño suave (trapo o gamuza) ligeramente humedecido con agua.
- No utilice nunca disolventes como alcohol, benceno o disolventes, o detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, o

paños de limpieza con productos químicos, ya que dañarán la superficie de la cubierta del objetivo.

Limpieza de la carcasa

- Limpie suavemente la carcasa con un paño suave y seco. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño ligeramente humedecido en una solución detergente suave y, a continuación, pasando un paño seco y suave.
- El uso de alcohol, benceno, disolventes o insecticidas puede dañar el acabado de la carcasa, o borrar las indicaciones de esta. No utilice estos productos químicos.
- Si se frota la carcasa con un paño sucio, esta puede arañarse.
- Si la carcasa entra en contacto con goma o resina de vinilo durante un periodo de tiempo prolongado, el acabado de la misma podría deteriorarse y el recubrimiento podría desprenderse.

Proyector LCD

El proyector LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros o brillantes (rojos, azules o verdes), o ambos, de forma continua en el proyector. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica fallo de funcionamiento.
Además, si utiliza varios proyectores LCD para proyectar en una pantalla, es posible que la reproducción de colores no sea igual en todos los proyectores, incluso si son del mismo modelo, ya que el balance de color puede estar configurado de manera distinta.

Cubierta del objetivo con cristal endurecido

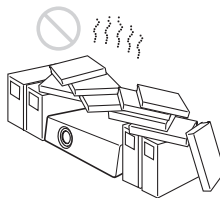
Se suministra una cubierta del objetivo con cristal endurecido; sin embargo, no es irrompible. Si el cristal se hace añicos, podrían esparcirse fragmentos peligrosos. Tenga en cuenta lo siguiente:

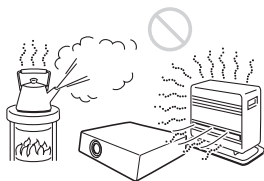
- Evite que la cubierta caiga desde gran altura y reciba un fuerte golpe.
- No la arañe. Un arañazo profundo puede provocar que se rompa.

Notas sobre la instalación y el uso

Instalación inadecuada

No instale la unidad en las siguientes situaciones. **Estas instalaciones pueden producir fallos de funcionamiento o daños** a la unidad.

Ventilación escasa

- Permita una circulación de aire adecuada para evitar el recalentamiento interno. No coloque la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices, etc.) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- Si se produce recalentamiento interno debido al bloqueo de los orificios, el sensor de temperatura se activará y aparecerá el mensaje “¡Temperatura alta! Apag. 1min.”. La alimentación se desactivará automáticamente tras un minuto.
- Deje un espacio superior a 30 cm (11 7/8 pulgadas) alrededor de la unidad.
- Procure que no se introduzcan elementos extraños de tamaño reducido por los orificios de ventilación, como por ejemplo trozos de papel.

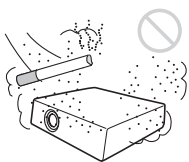
Calor y humedad excesivos

- Evite instalar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.
- Para evitar que se condense humedad, no instale la unidad en lugares en los que la temperatura pueda aumentar rápidamente.

Expuesta a un flujo directo de aire frío o caliente procedente de un aparato de climatización

Si la instala en una ubicación de estas características, la unidad puede averiarse debido a la condensación de humedad o al aumento de temperatura.

Cerca de un sensor de calor o de humo

Puede provocar que el sensor se averíe.

Con mucho polvo o humo excesivo

Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro del aire se obstruirá, y es posible que la unidad se averíe o no funcione correctamente. El polvo, que impide que el aire pase por el filtro, puede provocar que la temperatura interna de la unidad aumente. Limpie el filtro de aire siempre que sustituya la lámpara.

Uso a altitudes elevadas

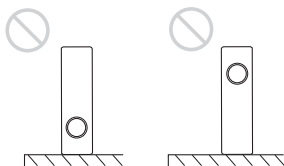
Si utiliza el proyector a altitudes de 1.500 m o más, ajuste la opción “Modo gran altitud” del menú Configuración en “Sí”. Si no se establece este modo cuando se utiliza la unidad a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.

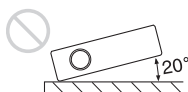
Nota sobre la pantalla

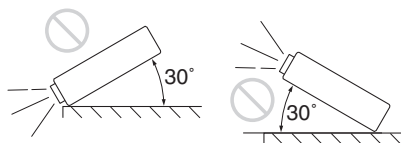
Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y la unidad, o de la ampliación del zoom. Esto no significa una avería de la unidad.

Condiciones inadecuadas

No emplee la unidad en las siguientes condiciones.

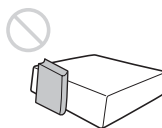
No tumbe la unidad

Evite utilizar la unidad en posición vertical apoyada en un lateral. Pueden producirse fallos de funcionamiento.

No la incline a derecha o izquierda

Evite utilizar la unidad con una inclinación hacia la derecha o la izquierda superior a 20 grados. Instale la unidad únicamente en el suelo o en el techo. Si no lo hace así, puede provocar averías.

No incline la unidad hacia delante o hacia atrás

Si se deja la unidad inclinada durante un período de tiempo determinado, puede aparecer un mensaje de aviso para indicar que el ángulo de instalación está fuera del rango aceptable.

No bloquee los orificios de ventilación

Evite emplear algo que cubra los orificios de ventilación (escape/aspiración); en caso contrario, es posible que se produzca un recalentamiento interno.

No coloque ningún objeto que bloquee el objetivo justo delante del objetivo

No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objeto. Utilice la tecla PIC MUTING para interrumpir la imagen.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG
DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden.
Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

Hinweis für Kunden

Die länder-/regionsspezifischen Hinweise gelten nur für Geräte, die in diesen Ländern/ Regionen verkauft werden.

WICHTIG

Das Namensschild befindet sich auf der Unterseite des Gerätes.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japan.
Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Zur Sicherheit

Bringen Sie unbedingt den Luftfilter am Gerät an.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

VORSICHT

Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen.
Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen.

Nur für VPL-MX25

Für Kunden in Europa

Hinweis für Kunden: die folgenden Hinweise gelten nur für Geräte, die in Ländern verkauft werden, in denen die EG-Richtlinien angewandt werden.

Dieses Produkt ist für die Verwendung in den folgenden Ländern vorgesehen:

AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	PT	RO
SK	SI	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH		

Hiermit erklärt Sony Corporation, dass sich das Gerät VPL-MX25/Data Projector in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet. Weitere Informationen erhältlich unter:
http://www.compliance.sony.de/

Für Kunden in Frankreich

Die WLAN-Funktion dieses Datenprojektors darf ausschließlich innerhalb von Gebäuden verwendet werden.

Für Kunden in Italien

Die Verwendung des RLAN-Netzwerkes wird geregelt:

- in Bezug auf die private Verwendung durch die gesetzliche Bestimmung vom 01.08.2003, Nr. 259 („Richtlinie über elektronische Kommunikation“). Im Einzelnen gibt Artikel 104 an, wann die vorherige Einholung einer allgemeinen Genehmigung erforderlich ist und Art. 105, wann die freie Verwendung erlaubt ist.
- in Bezug auf die Bereitstellung des RLAN-Zugangs zu Telekomnetzwerken – und Dienstleistungen für die Öffentlichkeit, durch die geänderte amtliche Richtlinie vom 28.05.2003 und Art. 25 (allgemeine Genehmigung für elektronische Kommunikationsnetzwerke und -dienstleistungen) der Richtlinie über elektronische Kommunikation
- in Bezug auf die private Verwendung durch die amtliche Richtlinie vom 12.07.2007

Für Kunden in Zypern

Der Endnutzer muss die RLAN-Geräte bei der Stelle für elektronische Kommunikation (P.I. 6/2006 und P.I. 6A/2006) registrieren lassen.

P.I. 6/2006 ist die Radiokommunikationsordnung von 2006 (Kategorien der Sender, die einer allgemeinen Genehmigung und Registrierung unterliegen)
P.I. 6A/2006 ist die allgemeine Genehmigung für die Verwendung von Radiofrequenzen durch lokale Netzwerke und durch drahtlose Zugangssysteme, einschließlich lokaler Radionetzwerke (WAS/RLAN).

Für Kunden in Norwegen

Die Verwendung von Radiogeräten im geografischen Bereich innerhalb eines Radius von 20 km vom Zentrum von Ny-Ålesund, Svalbard ist nicht erlaubt.

Vorsichtsmaßnahmen

Info zur Sicherheit

- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt. Falls eine Spannungsanpassung erforderlich ist, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertes Sony-Personal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an der Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Blicken Sie bei eingeschalteter Lampe nicht in das Objektiv.
- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen (Auslass) fern — die austretende Luft ist heiß.
- Achten Sie darauf, dass Sie nicht die Finger im Neigungseinstellfuß einklemmen. Der elektrische Neigungseinstellfuß wird beim Einschalten des Gerätes automatisch ausgefahren und beim Ausschalten automatisch wieder eingefahren. Berühren Sie das Gerät nicht, während der Neigungseinstellfuß in Bewegung ist. Stellen Sie den elektrischen Neigungseinstellfuß nach Beendigung der Automatikfunktion sorgfältig ein.
- Verwenden Sie das Produkt nicht mit abgenommenem Filter.
- Fassen Sie nicht in den Auslass .

Info zur Beleuchtung

- Um eine optimale Bildqualität zu erhalten, darf die Vorderseite der Leinwand keiner direkten Beleuchtung oder dem Sonnenlicht ausgesetzt sein.
- Verdecken Sie zur Leinwand gewandte Fenster mit undurchsichtigen Vorhängen.
- Es ist wünschenswert, den Projektor in einem Raum zu installieren, dessen Boden und Wände nicht aus lichtreflektierendem Material bestehen. Bestehen Fußboden und Wände aus reflektierendem Material, wird empfohlen, Teppichboden und Tapete durch eine dunklere Art zu ersetzen.

Info zur Verhütung eines internen Wärmestaus

Das Gerät besitzt Lüftungsöffnungen an der Unterseite (Einlass) und an der Seite (Auslass). Diese Öffnungen dürfen nicht blockiert oder durch Gegenstände zugestellt werden, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann, der eine Verschlechterung der Bildqualität oder Beschädigung des Gerätes verursachen kann.

Reinigung

Vor dem Reinigen

Ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.

Info zur Reinigung des Luftfilters

- Reinigen Sie den Luftfilter regelmäßig.
- Einzelheiten zur Reinigung des Luftfilters finden Sie unter „Reinigen des Luftfilters“.

Info zur Reinigung des Objektivdeckels

Die Oberfläche des Objektivdeckels ist speziell behandelt, um die Reflexion von Licht zu reduzieren.
Da durch falsche Wartung die Leistung des Projektors beeinträchtigt werden kann, sind folgende Hinweise zu beachten:

- Vermeiden Sie eine Berührung des Objektivdeckels. Um Staub vom Objektiv zu entfernen, wischen Sie es mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Verwenden

Sie kein feuchtes Tuch, Reinigungsmittel oder Verdünner.
- Wischen Sie den Objektivdeckel vorsichtig mit einem weichen Tuch, wie z. B. einem Reinigungstuch oder einem Glasreinigungstuch, ab.
- Entfernen Sie hartnäckigen Schmutz mit einem weichen Tuch, etwa einem Glasreinigungstuch, das leicht mit Wasser angefeuchtet ist.
- Verwenden Sie keinesfalls Lösungsmittel, wie Alkohol, Benzin oder Verdünner, Säuren, Laugen, Scheuermittel oder chemische Reinigungstücher, da diese die Oberfläche des Objektivdeckels beschädigen.

Reinigen des Gehäuses

- Reinigen Sie das Gehäuse vorsichtig mit einem trockenen, weichen Tuch. Entfernen Sie hartnäckigen Schmutz mit einem Tuch, das mit einer milden Reinigungslösung leicht angefeuchtet ist, und wischen Sie mit einem weichen, trockenen Tuch nach.
- Durch die Verwendung von Alkohol, Benzol, Verdünnung oder einem Insektizid kann die Oberfläche des Gehäuses beschädigt werden, oder die Beschriftungen auf dem Gehäuse können entfernt werden. Daher dürfen diese Chemikalien nicht verwendet werden.
- Durch Abwischen mit einem verschmutzten Tuch kann das Gehäuse zerkratzt werden.
- Bei längerem Kontakt des Gehäuses mit einem Gegenstand aus Gummi oder Vinylharz kann die Oberfläche beschädigt oder die Beschichtung abgelöst werden.

Info zum LCD-Projektor

Der LCD-Projektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Projektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung. Wenn Sie mehrere LCD-Projektoren für die Projizierung auf einer Leinwand verwenden, kann außerdem selbst bei identischen Modellen die Farbwiedergabe bei den verschiedenen Projektoren variieren, da für jeden Projektor eigene Einstellungen der Farbbalance vorgenommen werden können.

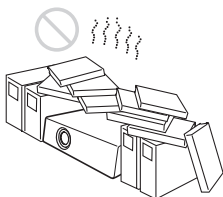
Objektivdeckel mit verstärktem Glas

Im Lieferumfang ist ein Objektivdeckel mit verstärktem Glas enthalten, das jedoch nicht bruchsicher ist. Falls das Glas zu Bruch geht, besteht Verletzungsgefahr durch umherliegende Scherben. Beachten Sie folgende Punkte:
- Der Deckel darf keinen starken Erschütterungen ausgesetzt werden, wie dies beispielsweise bei einem Sturz aus großer Höhe der Fall wäre.
- Der Deckel darf nicht zerkratzt werden. Ein tiefer Kratzer kann zu einem Bruch des Glases führen.

Hinweise zu Installation und Gebrauch

Ungeeignete Installation

Installieren Sie das Gerät nicht unter den folgenden Bedingungen. **Derartige Installationsbedingungen können Funktionsstörungen oder Beschädigung** des Gerätes zur Folge haben.

Schlecht belüftete Orte

- Sorgen Sie für ausreichende Luftzirkulation, um einen internen Wärmestau zu vermeiden. Stellen Sie das Gerät nicht auf Flächen (Teppiche, Decken usw.) oder in die Nähe von Materialien (Vorhänge, Gardinen), welche die Lüftungsöffnungen blockieren können.
- Wenn es wegen einer Blockierung zu einem internen Wärmestau kommt, wird der Temperatursensor aktiviert und die Meldung „Zu heiß! Birne aus in 1 Min.“ angezeigt. Der Projektor schaltet sich nach einer Minute automatisch aus.
- Halten Sie einen Abstand von mindestens 30 cm um das Gerät ein.
- Achten Sie darauf, dass keine Fremdkörper, wie z.B. Papierschnipsel, durch die Lüftungsöffnungen angesaugt werden.

Sehr heiße und feuchte Orte

- Vermeiden Sie die Installation des Gerätes an einem Ort, der eine hohe Luftfeuchtigkeit oder sehr hohe oder niedrige Temperaturen aufweist.
- Um Feuchtigkeitskondensation zu vermeiden, installieren Sie das Gerät nicht an einem Ort, an dem die Temperatur plötzlich ansteigen kann.

Direkte Einwirkung von kalter oder warmer Luft von einer Klimaanlage

Die Installation an einem solchen Ort kann zu einer Funktionsstörung des Gerätes führen, die durch Feuchtigkeitskondensation oder Temperaturanstieg verursacht wird.

In der Nähe eines Wärme- oder Rauchsensors

Eine Funktionsstörung des Sensors kann verursacht werden.

Sehr staubiger oder extrem rauchiger Ort

Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Anderenfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann. Ein mit Staub zugesetzter Luftfilter kann einen Anstieg der internen Temperatur des Geräts verursachen. Reinigen Sie den Luftfilter bei jedem Auswechseln der Lampe.

Benutzung in Höhenlagen

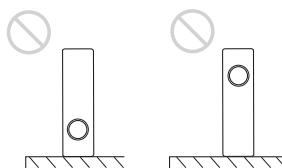
Wenn Sie den Projektor in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, setzen Sie „Höhenlagenmodus“ im Menü Einrichtung auf „Ein“. Wird dieser Modus bei Verwendung des Gerätes in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z.B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

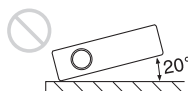
Hinweis zur Leinwand

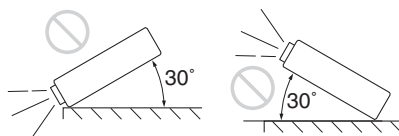
Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Gerät oder der Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Gerätes.

Ungeeignete Bedingungen

Benutzen Sie das Gerät nicht unter den folgenden Bedingungen.

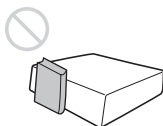
Das Gerät nicht umkippen

Vermeiden Sie den Betrieb bei Senkrechtstellung, weil das Gerät sonst umkippen kann. Dies kann zu einer Funktionsstörung führen.

Nicht nach rechts/links neigen

Vermeiden Sie den Betrieb des Gerätes bei einer Neigung von mehr als 20 Grad nach rechts oder links. Verwenden Sie außer Boden- oder Deckeninstallation keine anderen Installationsarten. Es könnte sonst zu einer Funktionsstörung kommen.

Neigen Sie das Gerät weder rückwärts noch vorwärts

Wenn das Gerät eine Zeit lang nach links geneigt wird, erscheint möglicherweise eine Warnmeldung, die anzeigt, dass sich der Aufstellungswinkel nicht im zulässigen Bereich befindet.

Nicht die Lüftungsöffnungen blockieren

Vermeiden Sie das Abdecken mit Material, das die Lüftungsöffnungen (Auslass/ Einlass) blockiert, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann.

Kein Hindernis direkt vor dem Objektiv aufstellen

Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, direkt vor das Objektiv. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen. Drücken Sie die Taste PIC MUTING, um das Bild abzuschalten.

ATTENZIONE

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

ATTENZIONE
QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

ATTENZIONE
Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

Avviso per i clienti
Le dichiarazioni per ciascuna nazione/area geografica sono valide solo per gli apparecchi venduti in tale nazione/area geografica.

IMPORTANTE
La targhetta di identificazione è situata sul fondo.

ATTENZIONE
1 Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2 Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina confrmi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, consultare personale qualificato.

Per i clienti in Europa
Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

Sicurezza
Ricordare di montare sull'unità il filtro dell'aria.

ATTENZIONE
Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore.
Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

Solo per VPL-MX25

Per i clienti in Europa

Avviso per i clienti: le seguenti informazioni sono valide solo per gli apparecchi venduti nei paesi che applicano le direttive UE.

Questo prodotto è destinato all'uso nei seguenti paesi:

AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	PT	RO
SK	SI	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH		

Con la presente Sony Corporation dichiara che questo VPL-MX25/Data Projector è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE. Per ulteriori dettagli, si prega di consultare il seguente URL: http://www.compliance.sony.de/

Per i clienti in Francia

La funzione WLAN del presente proiettore deve essere utilizzata esclusivamente all'interno di edifici.

Per i clienti in Italia

L'utilizzo della rete RLAN è regolato:

- relativamente all'uso privato, dal Decreto Legislativo del 1.8.2003, n. 259 ("Codice delle comunicazioni elettroniche"). In particolare, l'Articolo 104 indica i casi in cui è necessario ottenere preventivamente un'autorizzazione generale, mentre l'Articolo 105 specifica i casi in cui è consentito il libero uso;
- relativamente alla fornitura al pubblico dell'accesso RLAN ai servizi e alle reti di telecomunicazione, dal Decreto Ministeriale del 28.5.2003 e successive modifiche, e dall'Art. 25 (autorizzazione generale per i servizi e le reti delle comunicazioni elettroniche) del Codice delle comunicazioni elettroniche
- relativamente all'uso privato, dal Decreto Ministeriale del 12.07.2007

Per i clienti a Cipro

L'utente finale deve registrare i dispositivi RLAN presso il Dipartimento delle comunicazioni elettroniche (P.I. 6/2006 e P.I. 6A/2006).

P.I. 6/2006 è l'Ordinamento sulle radiocomunicazioni (Categorie di stazioni radio soggette ad autorizzazione generale e registrazione) del 2006.
P.I. 6A/2006 è l'autorizzazione generale per l'uso delle radiofrequenze da parte di LAN (Local area Networks – reti locali) radio e WAS (Wireless Access Systems - sistemi di accesso wireless) incluse le reti LAN radio (WAS/RLAN).

Per i clienti in Norvegia

L'uso del presente apparecchio radio non è consentito nell'area geografica compresa entro un raggio di 20 km dal centro di Ny-Ålesund, Svalbard.

IT

Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale. Se è necessaria una regolazione della tensione, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Se dei liquidi o degli oggetti dovessero cadere nel mobile, scollegare l'unità e, prima di utilizzarla nuovamente, farla controllare da personale Sony qualificato.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo, tirarlo fuori afferrando la spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa di rete dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- Finché l'unità è collegata alla presa a muro, non è elettricamente isolata dall'alimentazione CA, anche se l'unità è stata spenta.
- Non guardare dentro l'obiettivo quando la lampada è accesa.
- Non mettere le mani o degli oggetti in prossimità delle aperture di ventilazione (scarico) — l'aria che ne fuoriesce è calda.
- Prestare attenzione a non rimanere incastrati con le dita nel dispositivo di regolazione. Il dispositivo di regolazione dell'inclinazione asservito di questa unità si estende automaticamente quando viene accesa l'alimentazione e rientra automaticamente quando l'alimentazione viene spenta. Non toccare l'unità quando il dispositivo di regolazione è in funzione. Regolare accuratamente il dispositivo di regolazione dell'inclinazione asservito quando il funzionamento automatico è completato.
- Non utilizzare il prodotto quando il filtro è stato rimosso.
- Non sostare presso l'apertura di scarico.

Illuminazione

- Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non dovrebbe essere esposta a illuminazione diretta o alla luce del sole.
- Coprire eventuali finestre davanti allo schermo con tendaggi opachi.
- Si consiglia di installare il proiettore in un locale in cui il pavimento e le pareti siano di materiali non riflettenti. Se il pavimento e le pareti fossero di materiali riflettenti, si consiglia di cambiare tappeti e tappezzeria in modo che siano di colore scuro.

Prevenzione del surriscaldamento interno

L'unità è dotata di aperture di ventilazione (aspirazione) sul fondo e di aperture di ventilazione (scarico) sul lato. Non ostruire né mettere alcun oggetto in prossimità di tali aperture, per evitare il surriscaldamento interno che provocherebbe degrado dell'immagine o guasto dell'unità.

Pulizia

Prima della pulizia

Assicurarsi di scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa CA.

Pulizia del filtro dell'aria

- Pulire regolarmente il filtro dell'aria.
- Per la pulizia del filtro dell'aria, fare riferimento a "Pulizia del filtro dell'aria".

Pulizia del coperchio dell'obiettivo

La superficie del coperchio dell'obiettivo è appositamente trattata per ridurre la riflessione della luce.
Una manutenzione non corretta può ridurre le prestazioni del proiettore, pertanto, prestare attenzione a quanto segue:

- Non toccare il coperchio dell'obiettivo. Per spolverare l'obiettivo, usare un panno morbido e asciutto. Non usare un panno umido, soluzione di detersivo o diluente.
- Pulire delicatamente il coperchio dell'obiettivo con un panno morbido, ad esempio con un panno per la pulizia o un panno per la pulizia dei vetri.
- Rimuovere le macchie ostinate con un panno morbido, come un panno per la pulizia o per i vetri, leggermente inumidito con acqua.
- Non utilizzare mai solventi quali alcol, benzene o diluente, né detergenti alcalini, abrasivi o acidi, né panni per pulizia contenenti agenti chimici, poiché

potrebbero danneggiare la superficie del coperchio dell'obiettivo.

Pulizia delle parti esterne dell'apparecchio

- Pulire delicatamente l'apparecchio con un panno morbido e asciutto. Rimuovere le macchie ostinate utilizzando un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata, quindi asciugare con un panno morbido asciutto.
- L'uso di alcol, benzene, diluente o insetticida può danneggiare la finitura dell'apparecchio o rimuovere le indicazioni su di esso. Non utilizzare queste sostanze chimiche.
- Non sfregare l'apparecchio con un panno macchiato, per evitare di graffiarlo.
- Se l'apparecchio entra in contatto con un prodotto in gomma o resina di vinile per un periodo prolungato, la finitura potrebbe deteriorarsi e il rivestimento potrebbe staccarsi.

Proiettore LCD

Il proiettore LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Tuttavia potrebbero essere visibili dei puntini neri e/o luminosi (rossi, blu o verdi) che appaiono in modo permanente sul proiettore LCD. Questo è un risultato normale del processo di fabbricazione e non costituisce un guasto. Inoltre, usando più proiettori LCD per proiettare su uno schermo, anche se sono dello stesso modello, la risoluzione dei colori dei vari proiettori può cambiare in quanto il bilanciamento dei colori potrebbe essere impostato diversamente da un proiettore all'altro.

Copriobiettivo con vetro temperato

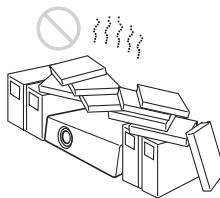
Viene fornito un copriobiettivo con vetro temperato che, tuttavia, non è infrangibile. Se il vetro si rompe, potrebbero spargersi pericolosi frammenti. Prendere nota delle seguenti precauzioni:

- Non sottoporre il copriobiettivo a urti violenti lasciandolo cadere da una posizione elevata.
- Non graffiarlo. Un graffio profondo può portare alla rottura del vetro.

Note su installazione e uso

Installazione inadeguata

Non installare l'unità nelle condizioni che seguono. **Queste installazioni potrebbero causare malfunzionamenti o guasti** dell'unità.

Ventilazione insufficiente

- Fare in modo che la circolazione dell'aria sia adeguata ad evitare il surriscaldamento interno. Non mettere l'unità su superfici (tappeti, coperte ecc.) o vicino a materiali (tende, drappeggi) che potrebbero ostruire le prese di ventilazione.
- Quando si verifica surriscaldamento interno dovuto all'ostruzione, interviene il sensore di temperatura e viene visualizzato il messaggio "Temp. alta! Lamp. off 1 min." Trascorso un minuto, l'alimentazione si spegnerà automaticamente.
- Lasciare uno spazio di almeno 30 cm intorno all'unità.
- Prestare attenzione che oggetti leggeri come pezzi di carta potrebbero essere aspirati dalle prese di ventilazione.

Temperatura e umidità elevate

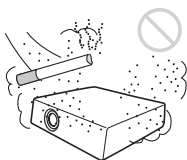
- Non installare l'unità in una posizione dove la temperatura o l'umidità è molto elevata o la temperatura è molto bassa.
- Per evitare la condensazione dell'umidità, non installare l'unità in una posizione dove la temperatura potrebbe salire rapidamente.

Aria fredda o calda da un condizionatore

L'installazione in una posizione di questo genere potrebbe provocare malfunzionamenti dell'unità dovuti a condensazione dell'umidità o all'aumento della temperatura.

Vicino a un sensore di calore o di fumo

Potrebbe causare un malfunzionamento del sensore.

Molta polvere, moltissimo fumo

Non installare l'unità in un ambiente molto polveroso o estremamente fumoso. Ciò potrebbe intasare il filtro dell'aria, causando un malfunzionamento o guasto dell'unità. La polvere che impedisce il passaggio dell'aria attraverso il filtro potrebbe causare un aumento della temperatura interna dell'unità. Pulire il filtro dell'aria ogni volta che si sostituisce la lampada.

Uso a quote elevate

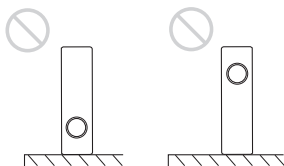
Quando si usa l'unità a una quota di 1.500 m o superiore, impostare "Modo quota el." su "Inser." nel menu Impostazione. Se non viene impostato questo modo quando l'unità è usata a quote elevate, potrebbero presentarsi effetti negativi, come la riduzione dell'affidabilità di alcuni componenti.

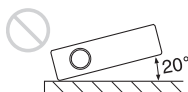
Nota sullo schermo

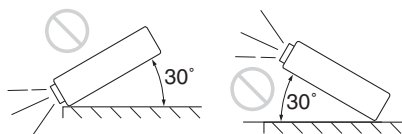
Se si utilizza uno schermo avente una superficie non uniforme, talvolta potrebbero apparire dei motivi a strisce in funzione della distanza fra lo schermo e l'unità o dell'ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un malfunzionamento dell'unità.

Condizioni inadatte

Non utilizzare l'unità nelle condizioni che seguono.

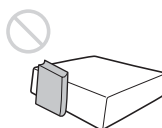
Non ribaltare l'unità

Non usare l'unità ribaltata su un lato. Potrebbe causare un malfunzionamento.

Non inclinare l'unità a destra/sinistra

Non usare l'unità inclinata più di 20 gradi a destra o a sinistra. Non installare l'unità se non sul pavimento o al soffitto. Tali installazioni potrebbero provocare malfunzionamenti.

Non inclinare l'unità in avanti o indietro

Se l'unità viene lasciata inclinata per un certo periodo, potrebbe apparire un messaggio di errore indicante che l'angolo di installazione è fuori dai parametri corretti.

Non ostruire le aperture di ventilazione

Per evitare surriscaldamento interno, non coprire le aperture di ventilazione (scarico/aspirazione).

Non mettere alcun ostacolo davanti all'obiettivo

Non mettere alcun oggetto davanti all'obiettivo affinché non oscuri la luce durante la proiezione. Il calore dovuto alla luce potrebbe danneggiare l'oggetto. Usare il tasto PIC MUTING per disattivare l'immagine.

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

为防止触电严禁拆开机壳，维修请咨询具备资格人士。

警告

此设备必须接地。

警告

在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。
在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

消费者注意事项

每个国家 / 地区的声明仅适用于在该国家 / 地区销售的设备。

重要

设备铭牌位于底部。

警告

1 请使用经过认可的电源线 （3 芯电源线） / 设备接口 / 带有接地点的插头，并且都要符合所在国家的安全法规。

2 请使用符合特定额定值 （电压、电流）的电源线 （3 芯电源线） / 设备接口 / 插头。

如果在使用上述电源线 / 设备接口 / 插头时有任何疑问，请咨询合格的维修人员。

为了安全

请务必在本机上安装空气滤网。

注意

如果更换的电池不正确，就会有爆炸的危险。只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。
处理电池时，必须遵守相关地区或国家的法律。

使用前须知

安全须知

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。 如果需要电压适配器，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请 Sony 公司专业技术人员咨询检查后方可继续使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 墙上电源插座应安装于设备附近使用方便的地方。
- 即使本机的电源已经关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 投影灯点亮时，请不要直视镜头。
- 请不要将手或物品放在通风孔 （排气）附近，排出的空气较热。
- 请小心，不要让调节器夹到手指。 开启电源时，本装置的动力倾斜度调节器自动展开，关闭电源后自动收缩。切勿在调节器操作时触摸本机。 完成自动操作后，仔细调整动力倾斜度调节器。
- 请勿使用已取下滤网的产品。
- 请勿落入排气孔。

关于照明

- 为了获得最佳图像，不应该让屏幕的前面暴露在直射照明或阳光下。
- 用不透明的帷幕遮盖所有面向屏幕的窗户。
- 建议将本机安装在地板和墙壁未采用反光材料的房间里。 如果地板和墙壁采用反光材料，建议将地毯和壁纸换成暗色。

防止内部蓄热须知

本机的底部装备有通风孔 （进气），侧面装备有通风孔 （排气）。 请勿堵塞通风孔或将任何物品放在通风孔旁边，否则可能发生内部蓄热，造成影像质量下降或损坏本机。

清洁方面

清洁前

确保从交流插座上拔下交流电源线。

关于清洁空气滤网

- 定期清洁空气滤网。
- 有关空气滤网的清洁方法，请参阅“清洁空气滤网”。

关于清洁镜盖

此镜盖表面进行了特殊处理，可以减少反射光。
维护不当可能会削弱投影机的性能，因此需要注意以下几点:

- 请勿触摸镜盖。 要清除镜头上的灰尘时，请使用干燥的软布。 请勿使用湿布、洗涤剂或稀释剂。
- 请使用软布如清洁布或玻璃清洁布轻轻擦拭镜盖。
- 使用浸过水的潮湿软布如清洁布或玻璃清洁布可以擦除顽固的污渍。
- 千万不要使用溶剂，例如酒精、苯或稀释剂，或者酸性、碱性清洁剂或洗擦剂以及化学清洁布，因为它们会损坏镜盖表面。

清洁机壳

- 使用柔软的干布轻轻擦拭机壳。 使用浸过中性清洁剂的软布可以擦掉顽固的污渍，然后用柔软的干布擦拭。
- 使用酒精、苯、稀释剂或杀虫剂可能会破坏机壳的表面光泽，或者擦掉机壳上的指示。 不要使用这些化学制品。
- 如果您使用脏布擦拭机壳，可能会刮伤机壳表面。
- 如果机壳长时间与橡胶或乙烯基树脂产品接触，机壳的表面涂层将会被破坏或脱落。

关于 LCD 投影机

本 LCD 投影机采用高精密度技术制造。 然而，可能会在 LCD 投影机的图像上持续显示微小的黑点和／或亮点 （红色、蓝色或绿色）。 这是制造过程的正常结果，不代表故障。
并且，当您使用多台 LCD 投影机投影在一个屏幕上时，即使是相同型号，投影机间的色彩再现可能会有不同，因为各个投影机的色彩平衡可能设置各异。

带钢化玻璃的镜盖

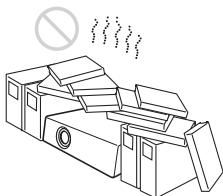
随配带钢化玻璃的镜盖，但它不易破碎。 如果玻璃破碎了，碎片有一定危险，可能会散开。 遵守以下注意事项:

- 不要从高处跌落，用强力撞击镜盖。
- 请勿刮擦它。 用力刮擦可能会引起破碎。

安装和使用注意事项

不当安装

请不要在下述条件下安装本机。 这些安装可能会导致故障或损坏本机。

通风不良的地方

- 应保持通风良好以防止内部蓄热。 请不要将本机放在可能堵塞通风孔的物品表面 （垫子、毯子等）或附近 （窗帘、帷帐）。
- 当由于障碍物堵塞通风孔而造成内部热量蓄积时，温度传感器将会工作并显示 “操作温度过高！ 将在 1 分钟之后关灯。”信息。1 分钟之后投影机电源将会自动关闭。
- 请在本机周围留出 30 cm 以上的空间。
- 小心不要让通风孔吸入微小物体，如纸片。

高热和潮湿环境

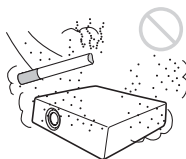
- 请避免将本机安装在温度或湿度非常高，或温度非常低的场所。
- 为了避免水气凝结，请不要将本机安装在温度可能会急剧上升的场所。

受空调的冷暖风直接吹拂的地方

在这样的场所安装可能会由于湿气凝结或温度升高而导致本机故障。

温度或烟雾传感器附近

可能会引起传感器的误动作。

多尘、多烟雾的地方

勿将本机安装在多尘或多烟雾的环境中。 否则，空气滤网会被堵塞，并可能导致本机故障或损坏。 灰尘会阻挡空气透过滤网，从而可能导致投影机内部温度升高。 请在每次更换投影灯时清洁空气滤网。

在高海拔地区使用

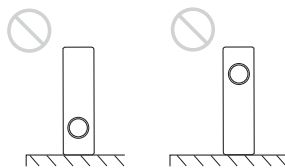
当在海拔 1500 米或更高的地区使用投影机时，请将 “设置” 菜单中的 “高海拔高度模式” 设置为 “开”。 当在高海拔地区使用本机时，如果没有设定此模式，可能会产生不良的影响，诸如降低某些组件的可靠性。

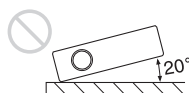
关于屏幕的注意事项

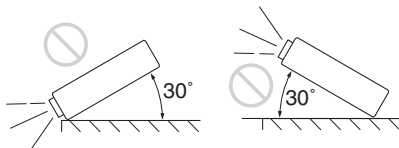
当在不平整的表面使用屏幕时，根据屏幕与本机之间的距离或变焦放大倍数的不同，极少数情况下可能会在屏幕上出现条纹图案。 这并非本机的故障。

不合适的条件

请不要在下述条件下使用本机。

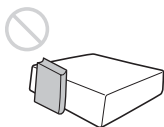
请不要倾倒本机

请避免在本机侧面倾倒时使用本机。 这可能会引起故障。

请不要向右／左倾斜本机

请避免在本机倾斜 20 度以上时使用本机。 请不要将本机安装在地板或天花板以外的地方。 这样的安装可能会引起故障。

请勿后倾或前倾本机

如果本机左倾达到一定时间，将显示一条警告消息，以示安装角度超出适当范围。

请不要堵塞通风孔

请避免使用物品遮盖通风孔 （排气／进气）；否则可能会造成内部热量蓄积。

请不要在镜头面前放置遮挡物品

在投影期间请勿在镜头面前放置可能会遮挡光线的物品。 来自光线的热量可能会造成物品损坏。 请使用 PIC MUTING 键停止投影。

この説明書は古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/

Sony Corporation Printed in Japan